

一般社団法人 日本塑性加工学会関西支部  
2021年度支部講演会プログラム

2021年4月23日(金) Web開催

13:45～13:50 開会挨拶 支部長

・賛助会員講演

13:50～14:30 2件(予定)

・招待講演

主題「手術支援ロボットによる先端医療推進および塑性加工による新しい医療用デバイス創製」

14:30～15:30

題目「ダイレスフォーミングによる難加工性マグネシウム合金極細薄肉管の創製と

医療用分解性ステント形状の創成」

内容「Mg合金は生体内分解・吸収されるため医療用分解性ステントとしての用途が期待されている一方で、難加工性材料としても知られている。本研究では革新的なダイレスフォーミングを利用した引抜き技術によるMg合金管の薄肉細管化を実現し、ステント形状の創成を目指した。」

東京大学生産技術研究所 准教授 古島 剛 氏

15:30～15:40 休憩

15:40～16:40

題目「国産手術支援ロボットの開発と今後の展望」

内容「2020年に国産初となる手術支援ロボット hinotori が上市された。我々は2015年より国産手術支援ロボットの開発をメディカロイド社と共同で行い、試作機の開発と検証、前臨床試験を行ってきた。世界初となるhinotoriを用いた手術を開始し、これまで8例を経験したが周術期有害事象は認めていない。今後は国産手術支援ロボットの科学的エビデンス蓄積、塑性加工技術を含めたさらなる研究開発による機能追加が期待される。」

神戸大学医学研究科 特命准教授 日向 信之 氏